



responsible for the future of buses

共同經營推進室

活動內容紹介

通勤

2022年度 活動內容

通勤



活動內容



セミコンテクノパーク ノーマイカーデー

活動概要

詳細は [こちら](#) をクリック

- 熊本県のUXプロジェクトの一環で、セミコンテクノパークにおける渋滞緩和を目指したノーマイカーデーを開催しました。



○セミコンテクノパークノーマイカーデー(2023.1.27)

	無料通勤バス	パークアンドライド	JR豊肥本線 増結	セミコン通勤バス増便
運行ルート	①合志ルート ②光の森ルート ③東区八反田ルート ④東区日赤ルート ⑤大津ルート	・無料通勤バスの利用促進として、商業施設等と連携してパークアンドライドを実施 【駐車場】 ・アンビー熊本 ・パークドーム	・通勤時間帯の熊本→原水の2便について車両を増結 【増結概要】 ・7:43着 1両増結 ・7:56着 2両増結 ※ともに原水駅着時刻	・JR豊肥本線増結に伴って、セミコン通勤バスの増便を実施 【増便概要】 ・朝：4便について2台体制で運行 ・夕：5便について2台体制で運行
ダイヤ	朝：3～6便 夕：3～6便			
運賃	無料			

成果

- ノーマイカーデーの日には、無料通勤バスやセミコン通勤バスを運行し、多くの方に利用していただきました。

無料通勤バス 利用者数

朝 **206名** 夕 **182名**

セミコン通勤バス 利用者数

朝 **453名** 夕 **281名**

- 無料通勤バスの利用者アンケートによると、13%が通勤手段を変化させたことがわかりました。
- また、その内訳は、車・バイクから公共交通(バス・鉄道)が74%と最も多い結果となりました。

みなさまの声

無料通勤バスの利用者

通勤時の過ごし方について「スマートフォン」「読書」など普段はできない活動が可能となりました。

セミコンテクノパークの従業員

渋滞緩和に向けた公共交通の充実について84%から御支持をいただきました。



responsible for the future of buses

共同經營推進室

活動內容紹介

通勤

2023年度 活動內容

通勤



活動內容



セミコンテクノパーク通勤バス実証運行

活動概要

- セミコンテクノパーク周辺の交通渋滞の緩和に向けて、熊本県や沿線市、セミコン企業と連携して通勤バス実証運行を実施しました。

○第2弾実証運行ルート(行き)



	第1弾	第2弾
実証期間	R5. 9. 11～9. 15 計5日間	R6. 1. 9～2. 22 計32日間
運行ルート	光の森(西花立)～	北バイパス(新須屋駅)～
車両	通勤6台、退勤5台(45人乗り・貸切バス)	通勤6台、退勤5台(45人乗り・貸切バス)
運行ダイヤ	通勤 【発】 6:20～8:25 8便、15～20分間隔	通勤 【発】 6:15～8:20 8便、15～20分間隔
	退勤 【発】 17:00～21:00 9便、30分間隔	退勤 【発】 17:40～21:00 9便、20～30分間隔
運賃	無料	有料(均一運賃 片道 500円/人・回)

成果

- 実証運行時の利用者数

第1弾実証運行 利用者数

824名

(最大180名/日、平均165名/日)

バスへの転換によって、往路では、6時台で平均12台、7時台で平均49台、8時台で平均21台の自家用車が削減されたことが確認されました。

第2弾実証運行 利用者数

1,648名

(最大61名/日、平均52名/日)



みなさまの声

セミコン通勤バス利用者

運転しなくて良いのはとても楽。
毎朝の事故リスクやストレスから解放され、乗り継ぎもないため非常によい。
通勤手段の少なさが渋滞を引き起こしてる。 早めに実装されて欲しい。



セミコン通勤バスの増便、ルート新設

活動概要 (実施主体:セミコン交通対策協議会 運行:熊本電気鉄道(株))

- 世界的半導体メーカーTSMCが設立した合弁会社JASMの工場開設で、ますます通勤需要が高まる中、JR原水駅とセミコンテクノパークの通勤を支える「セミコン通勤バス」のサービス拡充を行いました。

セミコン通勤バスのサービス拡充

2023年 8月 JASMルート新設、13便増便

2023年10月 2便増便

2024年 1月 土日祝日の運行開始

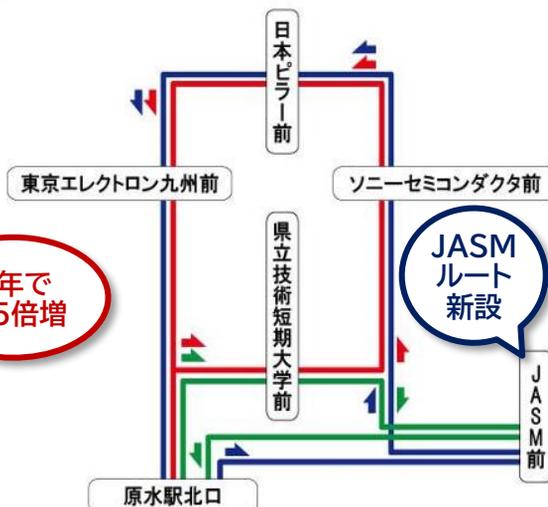


成果

- 2022年1月の利用者数は11,000名程度でした。2023年度末には、路線拡充や増便効果もあって、ひと月あたりの利用者数が27,000名と、約2年で2.5倍に増え、その後の需要もさらに増加しています。

○セミコン通勤バス 路線図(2023.8～)

SC	原水駅北口→県立技術短期大学前→ソニーセミコンダクタ前→日本ビラー前→東京エレクトロン九州前→原水駅北口
SC	原水駅北口→県立技術短期大学前→JASM 前→原水駅北口
SC	原水駅北口→JASM 前→ソニーセミコンダクタ前→日本ビラー前→東京エレクトロン九州前→原水駅北口



2022年 利用者数

(1月) **11,000名**

2023年 利用者数

(12月) **27,000名**

2年で
2.5倍増

みなさまの声

セミコン通勤バス利用者

原水駅北口のロータリーが完成したことにより安全に乗降できるようになった。ダイヤ改正により夕方の便でJRに余裕を持って乗継できるようになった。今後も増便してほしい。定期券の購入をもっと便利にしてほしい。



大津町企業向け通勤バス実証運行

活動概要

詳細は [こちら](#) をクリック

- 菊池南部地域の交通渋滞の解消に向けて、本田技研工業(株)・(株)構造計画研究所・行政(大津町、熊本県)・共同経営推進室でプロジェクトチームを構成して、通勤バス実証運行を実施しました。



成果

- 2回の通勤バス実証運行を行い、多くの方に利用いただきました。

	第1弾	第2弾
期間	R5.12.18~12.22 計5日	R6.3.11~3.15 計5日
ルート	肥後大津駅~室工業団地・翔陽高校・本田技研工業 (第1弾：南口、第2弾：北口) ※左図参照	



渋滞対策のための
1人でも多くの従業員の皆様のご参加をお待ちしております。

未来へつなげ！
ノーマイカー5days

無料
通勤バス

大津町企業向け
通勤バス
実証実験

実証実験 2023年
実施日 12月18日(月)~12月22日(金)

通勤バスを利用する3つのポイント

- JR 肥後大津駅を起点に、本田技研工業・室工業団地・翔陽高校まで無料通勤バスを運行
- バスや鉄道を活用して渋滞回避！交通事故防止！
- 渋滞対策のための通勤バス導入に向けた検討実施

第1弾 利用者数

1,436名

第2弾 利用者数

854名

みなさまの声

通勤バス利用者

運転しなくてよい時間を確保することができ、普段できないことをすることができた。時間の有効活用効果は大きい。 季節やタイミングを変えて検証してほしい。



responsible for the future of buses

共同經營推進室

活動內容紹介

通勤

2024年度 活動內容

通勤



活動內容



御代志駅ーセミコンテクノパーク通勤バス実証運行

活動概要

- セミコンテクノパーク周辺の交通渋滞の緩和に向けて、合志市、熊本と連携して通勤バス実証運行を実施しました。

概要	
実証期間	R6.2.3~2.28(平日のみ)
運行ルート	【合志市・県北】御代志駅~セミコンテクノパーク
ダイヤ	通勤 【発】 7~ 8時台 8便
	退勤 【発】 17~21時台 12便
運賃	無料

- 通勤時間を快適に過ごしていただくために車内にWi-Fi(無料)をご用意しました。



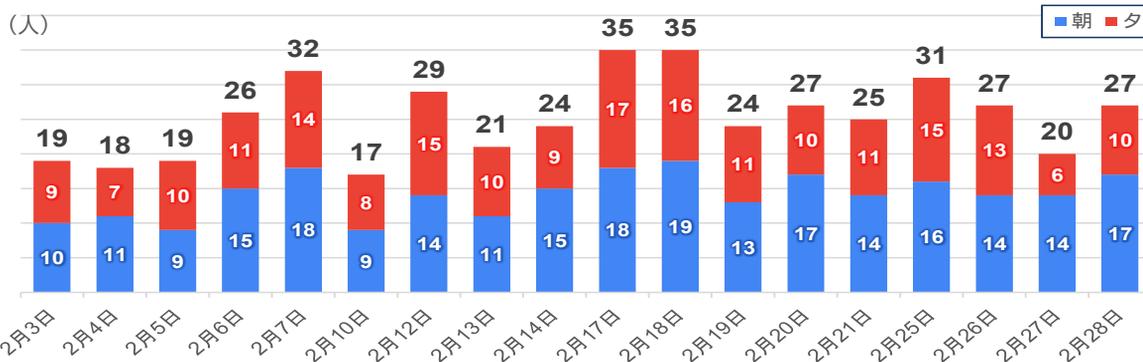
成果

- 今回は朝254名(14.1人/日)、夕202名(11.2人/日)の方に利用いただきました。

利用者数計

456名
(25.3人/日)

○日別利用者数グラフ



みなさまの声

実証運行に参加されたみなさま

- 御代志駅から自宅が近いので非常に便利だった。バス通勤時間を使って資格の勉強時間も確保できた。車内もWiFiが完備されており快適だった。
- 3月以降もこのルートでバスが出ると通勤に便利なので助かる。
- 御代志駅にパークアンドライドがあれば利用者は間違いなく増えると思う。



セミコン通勤バスのサービス拡充

活動概要 (実施主体:セミコン交通対策協議会 運行:熊本電気鉄道(株))

- 世界的半導体メーカーTSMCが設立した合弁会社JASMの工場開設で、ますます通勤需要が高まる中、JR原水駅とセミコンテクノパークの通勤を支える「セミコン通勤バス」のサービス拡充を行いました。

セミコン通勤バスのサービス拡充

2023年 8月 JASMルート新設、13便増便

2023年10月 2便増便

2024年 1月 土日祝日の運行開始

2025年 2月 バス車内のWi-Fiサービス開始

2025年 3月 2便増便



2024年度の
利用増の目標値

116,000人

成果

- 2022年度16.6万人、2023年度27.5万人、2024年度34.5万人と年間利用者数は年々増加しています。

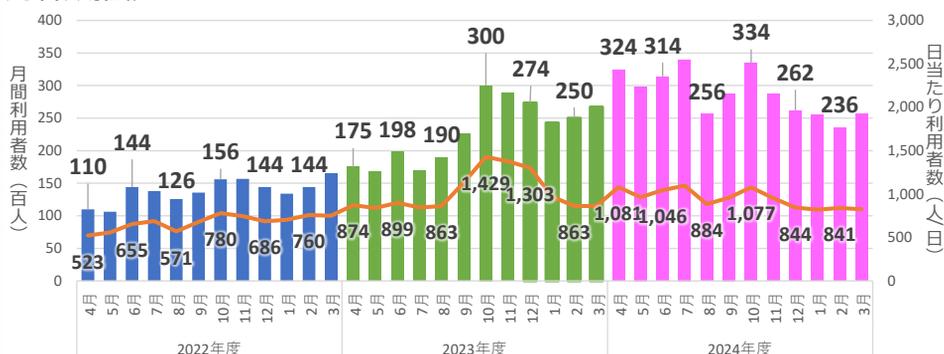
利用者増加数

70,000人

○年度別利用者数推移

	年間利用者数	備考
2022年度	166,015人	
2023年度	274,940人	2022年度比166%
2024年度	344,980人	2022年度比208% 2023年度比125%
23-24年度増分	+70,040人 (実利用者数96人)	目標値11.6万人の60% ※70,040人÷2÷365日

○月・日別利用者数推移



みなさまの声

ご利用いただいている方々

- Wi-fiが使えるようになって、とても便利になった。
- 昼間時間帯も運行してもらえると嬉しい。



大津町企業向け通勤バス実証運行

活動概要

- 菊池南部地域の交通渋滞の解消に向けて、肥後大津駅～本田技研工業(株)間で通勤バスの実証運行を行っています。
- 本事業は、本田技研工業(株)熊本製作所・(株)構造計画研究所・行政(大津町、熊本県県北広域本部)・共同経営推進室で、大津町渋滞対策プロジェクトチームを構成して取り組んでいます。



2024年度の
利用増の目標値

14,375人

概要

実証期間	2025年から3年間継続	
運行ルート	肥後大津駅(北口)～翔陽高校・本田技研工業	
ダイヤ	通勤	【発】 6～8時台 8便
	退勤	【発】 15～21時台 12便
運賃	有料(180～250円)	

成果

- 今年度の利用者数は11,709人となりました。
- 1日あたり平均で95人の利用となっています。

期間中利用者数

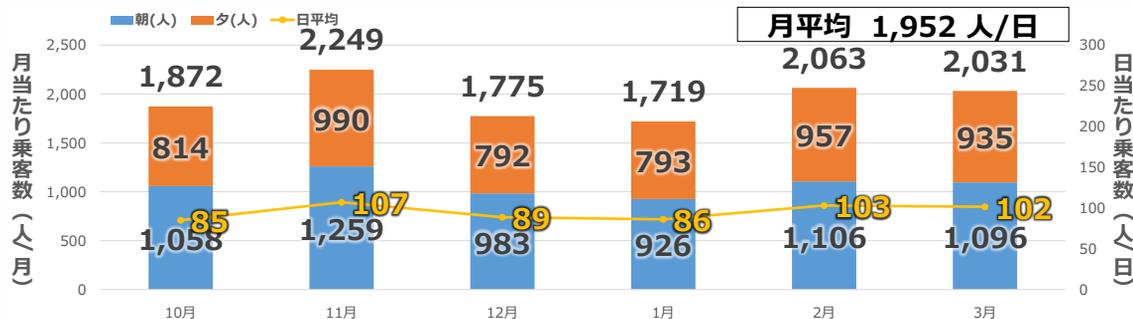
11,709名

日平均利用者数

95名



○乗客数推移(10月～3月)



みなさまの声

ご利用の方々

- 大変良い取り組みだと思つたため、今後も継続してほしい。
- 時差出勤などが難しい人もつるため、そういった人のためにもバスを継続してほしい。
- バス通勤者が増加することで、環境にやさしくなり、また渋滞緩和、交通事故減少にもつながら、住みやすい街になると思う。